

千刈狸の呟き

たぶん、8年以上前のことだと思う。その当時
東北の病院に勤務していた私は、外来である患者
さんと話をしていました。切除不能の腫瘍で入院
による化学療法を行い、その後外来化学療法を継
続していた患者さんで、いつも私に感謝の言葉を
言ってくれました。

ある日の会話の中で患者さんの口から出た言葉
が私の耳に引っかかりました。「私は生かされて
いますから……」。とても穏やかな表情で、いつ
もと変わらないゆっくりとした口調で……。「生
かされる」という言葉を初めて意識したのがこの
時だったと思います。「……される」というのは
受動態ではないか……あの程積極的に化学療法を
受け、自らの病と闘っている人が「……される」
なんて……と思いました。本当は生きていたいわ
けではないのに、私が化学療法で苦しい思いをさ
せているのだろうかと不安に思いました。

私は宗教のことにはあまり詳しくないが、この
患者さんは仏事を非常に大切にされる方で、化学
療法の予定も仏事の日程と調整しながら行って
いました。私が本荘に転勤するまでずっと外来に通
われて、「私は皆さんに生かされてると感じてい
ます」との言葉をいただきました。数年のち新聞
のおくやみで名前を発見し他界された事を知った
時は最期を穏やかに迎えられたことを願うばかり
でした。

これまでの8年ぐらいの間に他にも何人かの患
者さんから、「私は生かされてますから……」と
いう言葉を聞きました。共通している事は、皆自
分の病気（多くの方は癌患者さんでした）を理解
し、自分をよく見つめている人だと思いました。
やや、高齢のかたが多く、仏様の用事を大切に
する人が多かったような気がします。

数年前、若くして肝臓癌で亡くなったプロウィ
ンドサーファーの飯島夏樹さんのドキュメンタリ
ー番組が放送されました。プロウィンドサーフ
ーとして日本では唯一8年連続でワールドカップ
に出場した日本の第一人者です。この方は、トッ
プクラスのウィンドサーファーとして活躍してい
る時に肝臓癌を患い、手術を受けた。再発して再
手術、肝移植も受けました。途中で鬱病・パニッ

～ 生かされています ～

仔 狸

ク障害と闘い、洗礼を受けてキリスト教に改宗し
自らの生きる意味を見だし、死の直前まで自ら
ブログを更新し続けました。「今日も生かされて
ます」というタイトルでネットに自分の状態を書
き続けました。日々のちょっとした出来事や、家
族とのつながりの話もあったが、後半はホスピス
に入院し、徐々に状態が悪くなり、連載の間隔が
少しあいてしまいました。大丈夫だろうか……と
心配した頃、奥さんからの書き込みで訃報が告げ
られました。

このブログの内容が本になったものが「がんに
生かされて」という本です。この場合の「生かさ
れて」は、キリスト教の教えで人が生きているの
は、何か意味があつてのことで、人は生きている
のではなく神の目的によって生かされているのだ
そうです。クリスチャンではない私にとっては、
自分が生きている事が神の手の中で操られている
ような話と言うのはなんとなく不思議な気がしま
すが、意味があつて生かされている命だから大切
にする心というのはなんとなく理解出来るような
気もします。

仏事に熱心な患者さんも、自分の病状に苦悩し
追い詰められて改宗によって生きる力を取り戻し
た飯島さんも、生かされることに感謝し精一杯生
きているという姿は周りに関わる全ての人に勇気
を与えてくれるような気がします。

再び「生かされる」という言葉に戻ってみます。
病院に勤務していると受動的な「生かされる」に
遭う機会も少なくありません。現代の医療ではい
ろいろな事が提供できます。時にはそれが本人の
意思とは全く異なるものであつても、本人の意志
表示が出来ないばかりに家族の意向で行われる医
療もあります。ベッドサイドに立って時々考える
事があります……この患者さんは本当にこの処置
を望んだのだろうか……？

私達医師が行わなければならない事はより良い
医療を提供する事は勿論であるが、病に苦しむ患
者さんがその人らしい最期を迎えられるような演
出を手伝ってあげる事も大切な役目なのではない
かと考えます。